活き活きと輝き、誇れるまちの今を伝える

広報湯前

Public Relations Since1962.

http://www.yunomae.com/
［まちの情報誌ゆのまえ］

9
TheMonthly
Sep_2017
Vol.435

防災特集　熊本地震から学ぶ

「いざ」を乗り越える

甘くて大きなブドウの前でえんぴつを持つ―。

ブドウの重さは何グラム？／湯前ぶどう祭り

本町の特産品の一つ、湯前ブドウ。６回目となる「湯前ぶどう祭り」もたくさんの人でにぎわった。その中で毎年行われているのが「ブドウの重さ当てクイズ」。来場者がえんぴつで重さを書き、一番予想が近かった人にプレゼントされる。本町の寒暖差の中で、大きく甘く育ったブドウを手に入れようと、大人から子どもまで、頭を使って予測していた。

広報湯前 2017 Vol.435 9

今月の表紙

熊本県内の緑の少年団が集う交流会。蓑谷ため池では、カヌーやSUP、浅瀬での川遊びが行われました。ライフジャケットに身を包み「気持ちいい～！」と元気に泳ぐ湯前小の児童たち。他校の児童とも交流。楽しみながら水辺で夏の思い出を作っていました。

広報湯前は毎月１回発行しています。広報誌は湯前町のホームページでも見ることができます。ぜひ、町と人の“活き活きと輝く今”をパソコンやスマートフォンでもお楽しみください。http://www.yunomae.com/

CONTENTS

防災特集　熊本地震から学ぶ

「いざ」を乗り越える―。

９月１日は防災の日。昨年４月に発生した熊本地震から１年以上がたちました。大きな被害をもたらした地震は、私たち県民にとって、つらく、思い出したくないできごと。しかし、「怖かった」だけで終わらせることはできません。もし、今大きな地震が起きたら？そのとき、家にいたら？あなたはどう行動しますか？今回は熊本地震から命を守るための備えについて学んでいきましょう。

熊本地震で甚大な被害を受けた益城町の寺迫地区。数々の民家が倒壊している
※P４～７の写真はすべて益城町提供

益城町役場近くの宮園地区。昔ながらの建物も多く、地区の8～9割の建物が倒壊した

激しい揺れ、鳴り続けるアラーム、被害は甚大

震度7×2。「まさか」は現実に

震度7×2。熊本を襲ったのは観測史上初の大地震。
その衝撃は私たちの想像をはるかに超えるものでした。

最大18万人が避難

熊本地震では震度6以上の地震が7回発生。8割の県民が震度6以上の揺れに見舞われました。発災からことし5月までで、震度1以上の揺れが4300回を超えています。

避難所は855カ所開設され、避難者は最大18万3882人。関連死を含む死者は225人。8664棟の家屋が全壊し、40万戸以上で停電・断水。道路の寸断などライフラインにも支障をきたし、多くの人が不便な生活を強いられました。県内では昨年11月にすべての避難所が閉鎖されましたが、今も多くの人が仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。

まさか熊本で起きるなんて

昨年4月に本町から出向し、熊本市内で働く沖松泰豪さん。引っ越して2週間後のことでした。「自宅のテレビが突然倒れだしたが、最初は地震だと思わなかった。まさか熊本で起きるとは…」。外に出て、多くの人の姿や、もれたガスのにおいで状況をつかみました。

「避難所はどこだろう」。あたりをさまよう沖松さん。家の近くの高校は人が多すぎて入れず、健軍神社で車中泊。鳴り続けるアラームに、続く余震。眠れる状況ではありませんでした。自宅のアパートも被災し、約3週間、近くの公民館で寝泊まり。「子どもも多く、夜泣きで眠れず、疲れも取れなかったが、建物の中で寝られるだけまだ良い方。職場の同僚のほとんどが車で寝泊まりしていた」。

発生直後、食べ物はパンや缶詰で、温かいものにありつけませんでした。「手のかかった料理が恋しかった。久しぶりに味噌汁を飲んだときは体に染みた」。前震後にお風呂に貯めた水が本震で栓がゆるみ、台無し。3～4日断水が続き、沖松さんは備えの必要性を痛感していました。

熊本県後期高齢者医療連合
沖松泰豪（おきまつ たいごう）さん
（22＝下浜田）

復興への険しい道のり

ことし6月に本町から御船町役場に出向した西浩二さん。現在、建設課土木係として道路や河川の工事40本を担当。毎日のように現場に出向き、汗を流しています。

御船は山間部が多く、車ほどの大きな岩が転がっていることもあり、雨の日の作業は危険ととなり合わせ。西さんは「発災後、平野部分の道路は応急的に通れるよう補修してあるので、外から見るだけでは分かりづらいが、御船は被災しているところが点々としている。なかなか大きくとりあげられないが、復興にはとても時間がかかるし、支援の手も届きにくくなっている」と現状を話します。工事の現場には全国から応援が入っているものの、昨年度の工事が3割ほどしか終わっておらず、復旧にはまだまだ時間が必要。仮設住宅暮らしの人も多く、住民は自分の生活で手いっぱい。私道の復旧は見通しもついていません。

言葉で寄り添い心の支えに

「直してくれてありがとう」。厳しい状況でも、住民の感謝の言葉にやりがいを感じている西さん。しかし、「この道路はいつ通るのか」との問い合わせも多く、住民の不安やいらだちも同時に感じています。「住民の気持ちも良く分かる。私たちが不安を抱えている人の『心の支え』になれれば。まずは顔と顔を合わせて、言葉で安心を与えられるような存在でありたい」。西さんは工事だけでなく、住民とのコミュニケーションの必要性を話していました。

御船町役場建設課土木係
西浩二（にし こうじ）さん
（56＝馬場出身）

1 町内有数の避難拠点だった益城町総合体育館には多くの人が避難。電柱が倒壊し、停電しているため館内は暗かった 2 同じ体育館では日本赤十字社が拠点をつくり、体調不良を訴える人を看護 3 前震のあと、旧益城町役場の駐車場で各所から寄せられた救援物資を住民へ配布 4 本震でひっくり返ってしまった九州電力の復旧作業車。この場所は現在も立ち入り禁止となっている

人吉球磨に震度6強!?

熊本地震で私たちの地域には幸い、大きな被害はありませんでしたが、将来、強い地震がやってくることが予測されています。熊本県は平成24年度に「地震・津波被害想定調査結果」を公表。「人吉盆地南縁断層帯」で予想される本町の最大震度は6強、「南海トラフ地震」では震度6弱の揺れが予想されています。

一番強い揺れが予想されている南縁断層帯の地震が起きると人吉球磨はどうなるのでしょうか。もっとも被害が大きくなる風の強い冬の午前5時を想定した県危機管理防災課の算定では、建物は揺れや液状化、火災などで1万5000棟が全壊・半壊。死傷者数は3907人で避難者数は2万人以上。上下水道や電気、ガスにも大きな影響がおよぶ結果が出ています。私たちもいつ起こるか分からない災害に備えておかなければなりません。

人吉盆地南縁断層帯地震の影響予測（人吉球磨全体）

	全壊	半壊	火災	合計
建物被害	4,471棟	10,315棟	265棟	15,051棟

	死亡	重傷	負傷者	合計
人的被害	302人	746人	2,859人	3,907人

※震度6強、冬の午前5時、風速11m/秒の場合

今だからこそ、できるはず

発災すぐに上球磨消防署の署員も出動し、倒壊した家屋から逃げ遅れた人を救出しました。本震が起きたのは午前1時 25分という遅い時間。当時の状況から私たち住民が備えるべきものについて、同署の椎葉一浩さんにインタビューをしました。

あなたがあなたを。あなたがだれかを。
多くの命を救う個人の「備え」

INTERVIEW

上球磨消防署　消防課
椎葉（しいば）一浩（かずひろ）さん(45)

熊本地震の前震後すぐに、同署から6人を派遣。15日の夜から椎葉さんも第2陣として出動。西原村で倒壊した家屋から逃げ遅れた人を救う任務にあたる。昨年ゴールデンウイークには避難所から病院へ患者を搬送

正しい情報を手に入れる

パンクした電話回線や入り交じる無線。発災直後は情報が不足しました。まったく状況がつかめず、活動隊が孤立。落ち着いてくると、大小さまざまな情報が入ってくるので、人命救助を優先に、順位をつけて活動しました。

現場では本当かうそか分からない情報一つで活動が左右されます。今回は、衛星回線のインターネットとSNS※の「LINE（ライン）」がつながりました。普段からいくつか手段を用意しておき、正しい情報を得てから動くことが大切です。

県内全域に被害が生じれば、警察や消防がかけつけるまでに時間がかかります。西原村では地元の消防団を中心に、各家庭をまわって声をかけ、先に住民を避難させていました。普段から顔の見えるつながりをつくっておき、住民同士で助け合うことができれば、本当に助けが必要な人へ支援が行きわたります。

「食べて補充」で3日分を備える

私たちが救助に向かうときには衣食住最低限3日分を備えています。ライフラインがすべて止まっても、3日間は自分で生き延びられる備えが必要です。家庭では食べ物の賞味期限を書き出し、食料品は食べた分をまた補充。いつも使う食材を多めに買い足しておくだけでも効果があります。水は飲むだけでなく、洗ったり、非常食を温めたりと応用できます。

救助をするときにいつもの道が通れないこともあります。避難所だけでなく、日ごろから家族で話し合い、いくつか避難経路を考えましょう。大地震では家具の留め具が外れてしまうこともあります。家具の上に物を置かないことや、寝室には家具を置かない工夫も必要です。

揺れで車のカギや印鑑・通帳がちらばってしまったため、探すのに苦労した人もいて、その人は前震後に貴重品をポケットにつめ込んで寝ていました。持ち出すものは、ただ備えるだけでなく、一つにまとめ、揺れても動きにくい場所に置きましょう。

備えるときは夜を想定してください。寝室などに懐中電灯を置くこと、道はブロック塀などが飛び散り、まるで爆弾が落ちたかのような状況だったので、避難には底の厚い靴の用意も必要です。

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）…日記やメッセージで友人や知人と交流するインターネットサービス

今備えるべき4つのこと

1 だれでもできる「日常備蓄」

日ごろ使っている食料品や日用品を少し多めに買っておくことで簡単に備蓄。食べてしまったら無くなる前に買い足し

2 家具類の転倒防止・家の安全確認

- 避難経路を確保したレイアウトに
- 家具の上に物を置かない
- 家電も動かないように固定し、火災を防ぐ

3 避難先や経路・防災情報を確認し、正しい情報を知る

停電時でも聞ける電池式（充電式）のラジオやテレビ、スマートフォンなどを使い、消防署や行政のサイトで正しい情報を得る
- 家族と話し合い、いくつかの避難経路を事前に確認
- NTT 災害伝言ダイヤル、災害用伝言版、スマートフォンアプリなどを使う

4 最小限備えたい「備蓄品」と「持出品」

■備蓄品（例）
- □水（1人当たり1日3㍑）
- □食品（缶詰、レトルト食品、ドライフーズや野菜ジュース）
- □食品（調味料、スープ、味噌汁）
- □食品（お菓子類、加熱せず食べられるもの）
- □燃料（卓上コンロ、ガスボンベ）
- □毛布、タオルケット、寝袋
- □洗面用具（歯ブラシ、石けんタオル・ドライシャンプーなど）
- □簡易食器
- □ラップ、アルミホイル
- □ウエットティッシュ、トイレットペーパー
- □使い捨てカイロ、マスク、新聞紙
- □簡易トイレ
- □予備のメガネ、補聴器など

■持出品（例）
- □非常食（カンパン、缶詰）
- □飲料水
- □携帯ラジオ（予備電池も）
- □懐中電灯（予備電池、電球）
- □ろうそく
- □ヘルメット
- □ライター、マッチ
- □ナイフ、缶切り、栓抜き
- □ティッシュ
- □タオル
- □ビニール袋
- □上着、下着
- □軍手
- □救急医療品（ばんそうこうやかぜ薬）
- □常備薬
- □貴重品（現金、印鑑、通帳）
- □健康保険証や住民票のコピー
- □携帯電話の充電器
- □雨がっぱ

災害伝言ダイヤル

「171」をダイヤルすると、1つの電話番号で 20 件の伝言を録音、再生できます。暗証番号も設定できます。災害時以外は毎月1日、15 日などで試験利用することができます。

伝言の録音方法／伝言の再生方法
- 171にダイヤル
- 音声ガイダンスが流れる
- 録音は 1 を押す／再生は 2 を押す
- 音声ガイダンスが流れる
- 被災地の人の電話番号を入力（×××）×××－××××

地震が起きたときの行動

1:地震発生　自分の安全を確保!
- 揺れを感じたときは自分の安全を最優先に行動
- 物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動しない」空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見る
- 古い建物の1階は倒壊する恐れがあるので2階からあわてて1階に降りない

2:地震直後　落ち着いて行動
- 家族の安全を確認
- 火を使っているときは、揺れが収まってからあわてずに火を始末
- 屋内で転倒した家具やガラスの破片に注意、底の厚いスリッパや靴を履く
- 避難できるよう出口を確保
- 瓦、ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さず、ブロック塀にも近づかない

3:地震後　正しい情報を把握し、近所の安否を確認
- ブレーカーやガスの元栓をチェック
- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る
- 危ないと感じたら、避難所へ。自分や家族の安否情報、避難先などの張り紙を貼り、カギをかけて移動
- わが家の安全を確認したら近所の安否を確認

人と人のつながりが結果を変える

地域の力＝防災力

過去の地震では、建物の下敷きになって自力で脱出することが難しい人を近くの住民が救助し、多くの命を救ってきました。私たちがいざというときに助け合うためには、何が必要なのでしょうか？

住民みずから避難の連絡

町の全世帯に配られている「ゆのまえ防災マップ」には、土砂災害・土石流の危険や急傾斜で崩壊の危険があるところ、浸水が予想されるところなど、地図でくわしく載っています。36世帯118人（ことし7月末現在）が暮らす浜川地区の中にも梅雨や台風の豪雨などで土砂崩れのおそれがある地域があり、近くの住民は平均、年3回ほど保健センターへ自主避難をしています。

浜川区長の岡﨑郡太さんは避難所を開設したという町の防災無線をめやすに、土砂崩れなどの危険のある家庭へ避難を呼びかけています。隣保班長と連絡を取り合い、地区の避難者全体を把握。岡﨑さんは「避難していた人が自宅に帰ろうとすると斜面から滝のように水が流れ通れなかったことがあった。早めに避難をしないと逃げたくても逃げられなくなる。今、その地域の住民はみずから話し合っていて、避難するときには必ず私へ連絡が来るようになった」と住民の意識が変わったことを感じていました。

避難所や緊急時の連絡先などが掲載されている防災マップ。役場総務課にも置いてある

集まりの中で話し合う

高齢化率40㌽を超える本町では、高齢者の一人暮らしなどの世帯も多く、避難したくても移動の手段がない人もいます。浜川では地区の役員会を開くときに自主防災組織の会議も同時に開催。そこに地元の消防団を呼んで助け合いの体制を話し合っています。

会議の中では、災害が起きたときには隣保班長が中心となり、近所に声をかけるように決めています。岡﨑さんは「大きな地震で人吉球磨全体が被災したときは、いつ助けが来るか分からないので、自分たちでどうにかしなければならない。机の上では、隣保班長がとなり近所に声をかけるようにしているが、高齢化で70歳後半から80歳前半の人にも当番が回ってくるので、実際に災害が起きたとき、動けない可能性もある。若者が減って消防団の数も少なくなっているので、助け合いの仕組みをつくっていくことが難しくなってきている」と深刻な状況を語ります。

日常の中で助け合いの心が生まれる

「助け合いは動く人の『心』の問題。となり近所を助けてあげたいという気持ちを持っているかどうか」と話す岡﨑さん。町内でもそれぞれの地区で開かれる祭りなど、住民同士がコミュニケーションをとる機会はあるものの、地区の出ごとには、なかなか人が集まらなくなってきていきます。

熊本地震ではだれもが被災しているにもかかわらず、住民みずからが避難所を運営。みんなでみんなを支え合っていました。厳しい状況を乗り越えられたのは日ごろからのつながり。岡﨑さんは「プライベートに立ち入りすぎても問題が生じるが、近所や地区の情報がふと入ってくるような地区であってほしい。道を通ったときのあいさつや笑顔。希薄になりがちな地域のコミュニケーションだが、普段の生活の中で心を育てていかなければならないのでは」と話していました。

救助の７割が「近助」
（阪神・淡路大震災）

建物などの下敷きになって自力で脱出するのが難しかった３万5000人のうち77㌫は近くの住民が救助。亡くなった人の84㌫は地震発生後約14分以内に死亡している。早く助けることができるのは近くにいる人たちだった。

近所や地区の情報がふと入ってくるような地域であってほしい―。

浜川区長
岡﨑 郡太さん
（66＝浜川）

人のつながり、温かさを実感―。

浅生 克幸さん（熊本工業高3年＝中猪）
深水 翔平さん（熊本農業高3年＝野中田３）
清川 睦生さん（文徳高3年＝植木）

熊本地震が起きてすぐに３人と上田翔人さん（熊本国府高２年＝野中田１）の４人は町内で募金活動を行った

だれかのために行動したい

熊本市内の高校へ進学した本町出身の高校生たちは、発災後、2週間から1カ月ほど地元に避難。深水翔平さんが３人に声をかけ、昨年４月に３日間、本町のスーパーで募金活動を行い、38万円を集めて町の社会福祉協議会へ届けました。

体育館の壁のひびやグラウンドに倒れている電柱。それぞれが打ち込む部活動も満足のいく練習ができない状態。浅生克幸さんは「幸い、自分たちには被害はなかったが、被災した仲間やその家族、近くの住民の姿を見て、人ごとには思えなかった」と当時の胸中を語ります。

４人の姿に住民も心を動かされ、「大変だったね」「これからも頑張ってね」と励ましの言葉を添えて活動に協力。清川睦生さんは「差し入れや温かい言葉をかけてもらい、地元って良いなと思った。頑張る勇気をもらった」と人の温かさに触れていました。

活動後、新たな感情が芽生えました。深水さんは「福岡でも災害が起きている。熊本へたくさんの支援をしてもらった分、今後は私たちが力になりたい」と全国からの支援に感謝の気持ちを持つように。浅生さんは「災害はどこでも起きる可能性がある。また災害が起きてしまったとき、自分もだれかのために行動をしたい」。清川さんは「就職しても、地元で学んだ人とのつながりや助け合いを大切にしていきたい」。活動を通して、人として大きく成長していました。

募金を町の社協へ届けた高校生たち。この経験が彼らに人のつながりをより意識させた

今見つめ直す。

地震の傷をきずなへ。防災訓練や地区の行事への参加、住民主催のイベントの企画。被害の大きかった地域では、地域のつながりを見直し、住民同士が助け合って暮らしています。

私たちの町で災害が起きたとき、だれがどのように動けるかは分かりません。助け合いは「できる人ができる分だけ」。しかし、一人でも多くの人が、まわりに目を向けて、それぞれのできる量を増やすことができれば、被害は必ず減ります。もし、災害が起きて、あなたが動ける立場でいたとき、どう行動しますか？

助け合いの心は普段の生活の中で生まれます。人と接するときのふとしたときの表情や言葉。まずは生活の中で自分の行動を見つめ直してみませんか？　地域のコミュニケーションが希薄になりつつある今、私たち一人一人の「心」が試されています。

気にかけられて、
気にかけて。
できた人が
できたしこ。
私たちの「心」が
試されるとき――。

――特集「いざ」を乗り越える（完）

ご近所さんの谷川好子（たにがわよしこ）さん(60＝浅鹿野)※右と犬童一二美（いんどうひふみ）さん(56＝浅鹿野)。「いつもよくしてもらう」と谷川さんは犬童さんに感謝。犬童さんは「何か困ったことがあれば地区の人に聞きに行く」、谷川さんは「後ろを向いている人にもあいさつするように親から習った」とそれぞれ他人とのコミュニケーションを大切にしている。二人は８月27日に湯愛で行われた災害ボランティアセンター設置訓練にも参加した

1大人も子どももブドウを持って、笑顔で重さを予想2夏にぴったりのひんやりスイーツも販売3おいしいブドウを買い求める来場者4エイサーを踊りながら会場を回って、盛り上げた子どもたち5予想が当たってブドウをもらうと思わず「にっこり」家族も笑顔になれる重さ当てクイズ6漫画家の東さんに勝つと商品がもらえるじゃんけん大会も大盛況7黒・赤・白、色とりどりブドウがぎっしり。湯前産の夢の宝箱だ

Hotopi!（ホットピ！）ホットなわだいをあなたへ

No.1 湯前ぶどう祭り

絶品ブドウやこだわりスイーツでPR

「第6回湯前ぶどう祭り」が8月19日に農村環境改善センターで開かれ、町特産のブドウの直売やブドウを使ったこだわりのスイーツなどをめあてにたくさんの人でにぎわいをみせていました。

祭りは町特産のブドウを町内外に広くPRするために、湯前町観光物産協会（上米良秀人会長）が主催、町内のブドウ生産者7戸でつくる、ブドウ部会(大谷茂喜部会長)などが協力。本町は寒暖差が大きく、甘いブドウが育つのが特徴です。通常の7割ほどの価格で販売されたブドウの直売会は年々種類も増加。今回はすべて種なしの品種で、巨峰やピオーネ、ニューベリーA、ゴルビー、シャインマスカットなど、黒・赤・白、色とりどりのブドウ約10種類が立ち並び、開始時間前から多くの人が殺到。1500㌔用意されたブドウが完売しました。

直売会よこでは、ブドウの重さの予測をして、実際の重さと一番近かった人にブドウがプレゼントされる「重さ当てクイズ」を開催。23種類並んだブドウは実が大きく、ぎっしりとつまっていて、その重さは1㌔弱になるものもありました。当選者は前半10人、後半10人に分けて発表され、見事予測を的中させた来場者はうれしそうな表情で生産者からブドウを受け取っていました。

会場の出店にはブドウを使ったタルトや大福、ゼリー、チョコレート、フィナンシェ、ケーキ、ソフトクリームなど絶品スイーツが多数。生ビールや唐揚げ、焼きそば、特産品など町内業者のバザーにもたくさんの人が並び、バザー券についている抽選券でのくじ引きも楽しんでいました。

ステージでは、部会長の大谷さんがブドウを紹介。同日、本町でサイン会を開催していた漫画家の東毅さんも出演し、直筆のサインや特産品が当たる「じゃんけん大会」を開催しました。太極拳サークルや慈琉會のエイサー、ディベロップのダンスもあり、会場は盛り上がっていました。

1「よくできたね！」完成すると園児も保護者も笑顔2作業中に笑い声が飛び交う教室3友達の画面を見ながら、自分でプログラムを組んでいく中学生4横山さんのアドバイスを受けて「なるほど」と納得5日本語の命令を組み込んでいくので分かりやすくなっている6画面に熱中する児童

Hotopi!（ホットピ！）ホットなわだいをあなたへ

No.2 キッズプログラミング教室

保育園児から中学生までがクリエイター？

自分の命令通りに動くようにコンピューターに指示をする「プログラミング」。平成32年度までに全国の小学校でプログラミング教育が必修となることにあわせて、7月27日からキッズプログラミングが湯前小・中学校で開かれ、子どもたちが楽しくプログラミングを学んでいました。

IT人材の育成や子どもの考える力、創造力を伸ばそうと、ICT(情報通信技術)利活用推進協議会が開催。小学生の教室では3年～6年生35人がタブレットを使ったアニメーションづくりに挑戦しました。協議会アドバイザーの横山正人さんが講師として「プログラミングはコンピューターに作業の順番を教えてあげること」と児童に分かりやすく説明。今回はタブレットで、子ども向けのプログラミングソフトを体験しました。あらかじめ用意されている「〇歩動かす」「もし端についたら跳ね返る」などの命令を組み込んでいき、画面の中のキャラクターを自分の思い通りに動かし楽しんでいました。

湯前中では、20人の生徒が参加し、みずから動きの組み合わせを考えていきました。

小学生2回、中学生2回の計4回の教室が開かれ、ルールを作って、自分で操作できるような「ゲーム」を一人一作品ずつ作り上げていました。参加した那須彩花さん（湯前小3年＝上村）、藤本芽衣さん（同3年＝上里1）、田口朔さん（同3年＝上村）は「複数のキャラクターを動かすのは少し難しかったけど、動くキャラクターがおもしろかった。自分でいろんな操作をすることができて楽しかった」と口をそろえて話していました。

なお、慈光子ども園でも同様の教室が開かれ園児25人が画面を操作し、実際にキャラクターを動かして、うれしそうに友達や保護者に見せていました。

プログラミング体験に「にっこり」の3人

文化財の魅力を再発見
日本遺産講座

7月19日（水）

第１回の日本遺産講座が７月19日に湯前町保健センターで開かれ、湯前町、多良木町、水上村の住民約50人が参加し、日本遺産の目的や認定されたストーリーの内容を学びました。

平成27年度に人吉球磨の文化財でつくられたストーリーが県内第１号として同遺産に認定。地域の文化財の魅力を多くの人に知ってほしいと３町村の教育委員会が主催し、計３回の講座が開かれます。

今回は本町教育委員会で学芸員の資格を持つ藤崎正人さん（35＝野中田３）が講師となり講演。「鎌倉時代から明治時代まで一つの地域を領主が治め続けたためずらしい地域は全国に４例しかない。守るべきものは守りながらも、新しいものを意欲的に取り入れてきた」などとストーリーを解説。ほかにも、かやぶき屋根が多いことなどの建造物の特徴も受講者に説明していました。

日本遺産の構成文化財の特徴を学んだ受講者

ペットボトル浮きや新スポーツを体験
B＆G水辺の安全教室

7月23日（日）

B&G海洋センターの「水辺の安全教室」が７月23日に同プールで開かれ、小学生から60代の大人まで25人が参加し、「１分間のペットボトル浮きでの世界記録挑戦」や「スタンドアップパドルボート」（SUP）を体験しました。

世界記録挑戦は水難時に浮輪の代わりに使うことができるペットボトルでの浮き方を学ぶために全国の84カ所のセンターで開催され、2227人が参加。本町では25人が一人２本のペットボトルを使い、３人の審査員が見守る中、１分間の背浮きに挑戦しました。

参加者たちは、B&Gに新たに導入されたSUPも体験。二人一組でサーフボードの上に乗り、パドルを漕いでいました。参加した大田寛太郎くん（湯前小４年＝古城）は「おぼれている人を助けられるようになりたい」と話していました。

サーフボードの上に乗り楽しくパドルを漕いだ

発達障害について理解深める
特別支援連携協議会研修会

7月26日（水）

特別支援連携協議会（中村和弘会長）の夏の研修会が７月26日に農村環境改善センターで開かれ、教育・福祉関係者や住民など約100人が参加し、発達障害についての理解を深めました。

特別支援教育について学べる機会をつくろうと教育・福祉関係者らでつくる特別支援連携協議会が主催。会長の中村教育長は「最も重要な教育の一つ。今日の講演を聞いて、子どもたちの小さな変化に気づき、見守ってほしい」とあいさつ。

ことし４月から湯前中学校で特別支援学級の担任として勤務する加藤仁士さん（53＝下村）を講師に「障がいを知れば、障がいがなくなる！～もっともっと知ってほしい～」のテーマで講演を開催。

加藤さんは発達障害の種類や特徴、子どもたちとの接し方などをアドバイスし、参加者は「なるほど」とメモを取っていました。

加藤さんのアドバイスを聞きメモを取る参加者

社会貢献活動の現場を見学
JT新入社員研修を受け入れ

8月3日（木）

本町と一緒に森づくりに取り組む日本たばこ産業（JT）の新入社員研修が８月３日にゆのまえ温泉「湯楽里」一帯で開かれ、九州各地の新入社員17人が森づくりの学習や鶴田正已町長との対談などで活動や仕事への思いを高めていました。

研修は自社で行っている社会貢献活動の理解を深めようと開催され、今回が２回目。新入社員は国内の森林・林業の現状を学んだあと、JTの森や球磨プレカット、上球磨森林組合など林業の現場を見学しました。鶴田町長との対談では、森林整備への思いや活動を通じてできたつながりなど、積極的に質問。島田優太朗さん（23＝宮崎支店）は「活動が森の保全や町の安全に貢献できていることがうれしかった。前回一緒に活動した緑の少年団の子どもたちの元気が良く、豊かな自然が教育にも生かされているのだと感じた」と話していました。

町職員から森林整備の説明を受ける新入社員ら

楽しく泳ぎを学ぶ
湯前保育園水泳教室

8月7日（月）

湯前保育園の水泳教室は８月７日にB&G海洋センタープールで開かれ、年長児17人がバタ足やクロールの仕方を学んでいました。

水泳教室は以前から同園のプールで行われていましたが、もっと上手に泳げるようになってほしいと昨年から会場をB&Gに移して開催。公立多良木病院の健康運動指導士らを招いて、泳ぎ方を学んでいます。

大プールに５㍍間隔で板を置き、園児たちでも足がつくゴールとスタートを作りました。園児たちは、４人ずつプールにつかり、一人ずつ大人と一緒に練習。水に顔をつけて、上げたときに「パッ」。呼吸をする練習や、ビート板を使ったバタ足やクロールなどの泳ぎ方も練習しました。中には、スタートからゴールまで泳ぎ切る園児もいるほど泳ぎが上達。水泳教室のあとはスタンドアップパドルボートを楽しんでいました。

楽しく泳ぎ方を学ぶ園児

各地からファン集結
漫画家、東毅さんがサイン会

8月19日（土）

７月８日から８月20日まで湯前まんが美術館で展示を開いていた漫画家、東毅さんが８月19日に農村環境改善センターでサイン会を開き、集まったファンを魅了しました。

東さんは熊本市出身。代表作は超弩級少女４９４６」「電波教師」など。昨年、「ゆのまえ漫画フェスタ」にゲスト漫画家としても出演しました。

30人限定のサイン会には九州各地や遠くは大阪からファンが集結。ファンは自分が好きなキャラクターを東さんへ伝え、東さんが色紙に書き上げたあと、がっちり握手を交わしていました。

参加した岩下竜輝さん（19＝人吉市）は「初めてサインをもらったのでうれしい。中学生の時に電波教師を本屋で見つけて以来ファンになった。展示のことやキャラクターのことを東さんと話せてよかった」と話していました。

各地のファンを魅了した東さん

熊本県民体育祭の出場選手を紹介します

第72回熊本県民体育祭が人吉市・球磨郡を中心に開催されます。
本町の選手たちも球磨郡を代表して出場しますので、応援をお願いします。

■日　時　　9月16日（土）・17日（日）　※銃剣道競技は17日（日）のみ
■出場選手など　※本町関係

競技名	場　　所	競技開始		出場選手
		16日	17日	
陸　　上	多良木町多目的総合グラウンド	午後１時	午前９時	渕上 駿 ・ 東 雄峰・荒木 龍二
水　　泳	人吉市市民プール	午後１時20分	午前９時	橋本 房人 ・ 郷 峻太・工藤 陽平
軟式野球	川上哲治記念球場・錦町国体記念球場 南稜高校・あさぎり町上総合運動公園	午前９時	午前８時30分	上田 勝
ソフトテニス	人吉市村山公園テニスコート	午前９時30分	午前９時	谷口 仁
弓　　道	近的：人吉市弓道場 遠的：人吉市立第一中学校サブグラウンド	午前11時	午前９時	向江 富士夫 ・ 向江 大樹
銃剣道	水上村村民体育館	―	午前10時	森下 一富 ・ 福屋 博樹・黒木 真也 （福永 伸一）
アーチェリー	湯前町町民グラウンド	午後１時15分	午前９時	浜崎 俊一 ・ 黒木 宏丞・（落合 謙二） （黒木 龍次）
ゲートボール	錦町総合グラウンド	午後１時30分	午前９時	豊永 豊子 ・ 外山 榮子・蔵坐 シズエ （亀山 哲馬）
ボウリング	人吉市スターレーン	正午	午前９時	（藤本 峰子）
グラウンドゴルフ	五木村五木源パーク多目的広場	午後１時30分	午前８時30分	湯前 精一郎 ・ 大石 堅・岩竹 光義 栗本 孝 ・ 髙木 正彦 ・ 土屋 共司 山口 洋史 ・ 森崎 勝

※会場一覧は町のホームページで見ることができます（http://www.yunomae.com/）

（）は監督など関係者

問い合わせ　B&G海洋センター

ECOLOG

8月のごみ情報

※9月の不燃物収集は6日・20日です（第1・第3水曜日）

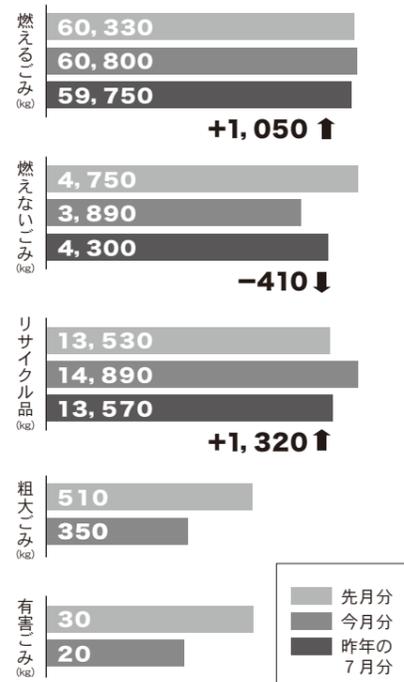
町の補助があります

生ごみ処理容器、処理機でエコしませんか？

生ごみの放置で、悪臭や害虫が発生…。そんな悩みを抱えている人は生ごみ処理容器や処理機を使ってみませんか？　家庭で処理すれば、堆肥化できるだけでなく、温室効果ガスやごみの量が減ります。町の補助をぜひ活用してください。

生ごみ処理容器（コンポスト）・・・１個につき　購入価格の半額を補助
※１世帯２個、１個3000円まで

生ごみ処理機（電動型）・・・・・・１台につき　購入価格の半額を補助
※１世帯１台、３万円まで

問い合わせ　保健センター

☆リサイクルステーションからのお願い！
※リサイクルは、「きれいなもの」が基本ですが、汚れている物を持ち込んであることがよくありますので、絶対に、汚い物を持ち込まないようお願いします
※ガスボンベは、不燃物です！決められた日にきちんと分別して出してください

新ALTにガブリエルさん

本町のALTとして７月31日に、ガブリエル・エリザベス・リードさん（24＝アメリカ・カリフォルニア州）が着任しました。

もし見かけたら気軽に声をかけてください！

湯前町に来ることができて、とてもうれしいです。湯前は私が見た中でも、最も美しい町のひとつです。私はアメリカ・ニューヨーク州の「ナイアガラの滝」付近で生まれましたが、カリフォルニア州のサンフランシスコに何年も暮らしていました。サンフランシスコ芸術研究所で芸術と写真を勉強し、２年前に卒業しました。卒業後に一度日本を訪れました。私は日本がとても好きになり、日本で住みたいと思うようになりました。日本の文化に興味があるので、もっともっと勉強したいです。

私は写真を撮ったりビデオを撮ったりすることが好きなので、カメラを持って歩いている姿を見かけるかもしれません。植物や料理、木工にも興味がありま す。一番好きな食べ物は魚と野菜です！

九州に来るのは初めてですが、湯前の皆さんはとても優しいです。私は日本語を上手に話せませんが、毎日勉強しています！もし町で私を見かけたら気軽に声をかけてください。私を皆さんの町に歓迎してくれてありがとうございます。

Thank you for welcoming me into your town!

写真やビデオ撮影も大好きな
ガブリエルさん

BOOKS

読書のススメ

中央公民館図書室　※貸出期間２週間／一人５冊まで
〇平日　午前８時30分～午後５時　〇土日・祭日　午前９時30分～午後５時
［問い合わせ］教育委員会　TEL0966-43-2050

全世界が待ちわびた書き下ろし長編第2部

騎士団長殺し　遷ろうメタファー編
村上 春樹（著）　新潮社

私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた……それは孤独でせいひつな日々であるはずだった。騎士団長が現れるまでは。

認知症の父と家族のあたたかく切ない物語

長いお別れ
中島 京子（著）　文藝春秋

帰り道は忘れても、難読漢字はすらすら分かる。妻の名前を言えなくても、顔を見れば、安心しきった顔をする―。認知症の父と家族のあたたかくて、切ない10年の日々。

実践グルメレシピも掲載

糖質オフ!でやせるレシピ
牧田 善二（著）

たらふく食べて、確実にやせる!　ルールはひとつ、糖質オフ!　難しいカロリー制限はいっさいなしで、お酒も食事も食べ放題。だけどやせる！糖質オフダイエットの方法を紹介。

ちょっと怖いけどワクワクする一冊

いるの いないの
京極 夏彦（著）　岩崎書店

おばあさんの古い家で、ぼくはしばらく暮らすことになった。その家の暗がりに、だれかがいるような気がしてしかたない。京極夏彦と町田尚子が腹の底から「こわい」を引きずり出す――。

Treasure of Culture

文化のタカラ

〜日本で最も豊かな隠れ里の歴史〜

Vol.6

御假(仮)屋跡（おかりやあと）

（「日本遺産」構成文化財）

参勤交代で大名が休憩していた場所

江戸時代に人吉藩内の地理や神社・仏寺の由来を描いた『球磨絵図』。現在の下城地区あたりを見ると「假屋（かりや）」という場所があります。

御假（仮）屋は戦国大名が領内で見回りや猟を行うときに、休憩して茶の湯（茶道）していた「茶亭（さてい）」が起源。江戸時代になると参勤交代の途中で大名が休憩・宿泊する場所として使われました。

絵図では現在の林酒造場あたりが御仮屋になっていますが、相良藩のお殿さまはここから横谷を越え米良方面へ進んでいました。建物は変わっているところもありますが、現在も焼酎の蔵元としてはもちろん、当時の風情も感じることができます。この場所は本年度「日本遺産」の構成文化財に追加された「相良氏関連古道」に入っています。

1『球磨絵図』の下城付近 2 当時の風情も感じられる林酒造周辺

Culture+

城泉寺の仏像を模刻中！ 東京藝大の中尾さんが現場をリポート

中尾 綾子（なかお りんこ）さん
（27=東京藝術大大学院）

私は福岡県出身で、実家の寺で父が住職をしていたので、幼いころから仏像に親しんでいました。現在は大学院の保存修復彫刻研究室で仏像の修復や研究を行っています。今回ご縁あって城泉寺の仏像を模刻させていただいているので、制作の状況をお伝えします。

城泉寺三尊像を調査したところ材質がヒノキだということが分かり、今回の模刻にもヒノキを使いました。元の像は板目ですが、今回は体幹の部分を二つの材でつなぎ合わせ、髻（もとどり）（髪を頭上で束ねたもの）や両肩・腕・手先は別材を使用。まずは原木から必要な部分を切り取ります。

頭部を基準に正中線を引き、目頭や口元などのくぼんだ部分、耳の穴など頭部の要所には点（錐（きり）点）を打っていきます。次は「荒彫り」と呼ばれる作業。輪郭線に沿ってのこぎりで切っていきます。線の外側を2㍉ほど残してノミで落としたあと、肩などななめの面を落として大まかな形を決めます。

城泉寺勢至（せいし）菩薩像は頭部に対して肩から腰が豊かにひねっているのが大きな特徴です。水粘土で原型を作るときも注意しました。大きな動きがついていないように見えますが、体をひねったときの自然なつながり。作った仏師が人の体の構造をよく観察していることが分かります。

1 水粘土で作られた勢至菩薩像の原型 2 図面を転写したヒノキ材

※模刻…元になるものとそっくりに彫刻すること

3 頭部に錐で点を打つ 4 点を打った頭部

Culture+

ZoomUp

自然活動で他校ときずな深める

全県緑の少年団交流会

協力しながら作品を作り上げる児童たち

県内九つの小学校による「全県緑の少年団交流会」が8月4日にB&G海洋センター一帯で開かれ、約100人の児童がカヌーなどの水遊びや木工教室で、いつもと違った仲間と交流を深めていました。

緑の少年団は自然とふれあうことで緑を愛し、守り育てることを目的に活動しています。交流会は県内の団員が集まる機会をつくり、協力しながら自然を大切にする心を育ててほしいと熊本県緑化推進委員会が主催し、本町での開催は2年ぶり3回目。

緑の制服や帽子をかぶった児童たちは、8班に分かれて、お互いに自己紹介。前半後半に分かれて、蓑谷ため池でカヌーやサーフボードの上に乗ってパドルをこぐ「SUP（サップ）」、浅瀬での川遊びと木工体験をしました。川遊びでは、水着の上からライフジャケットを身に着け、水の中を気持ちよさそうに泳ぎ、カヌーやSUPでは違う学校の児童とペアを組み、協力してパドルを漕いでいました。

木工体験では、直径2㌢ほどの円型の木材をボンドでつなぎ合わせて、ペン立てを作成。体験の合間の昼食では班で輪になって、会話をしながらメンバーのきずなを深めていました。湯前小の団長を務める浜崎魁世（かいせい）くん（同校6年=上里3）は「違う学校の人とボートに乗って協力しながらパドルをこいだのが楽しかった。いろんな人と仲良くなることができた」と話していました。

1 県内の学校から100人が集まったB&G体育館 2 体験ではたくさんの笑顔があふれた 3 蓑谷ため池でウォータースポーツをを体験 4 木材を使ってそれぞれオリジナルのペン立てを作成

Physical

家庭でできるベースアップ教室

お腹まわり、体幹を鍛えよう！その２

今回もバランスボールを使った運動でお腹まわり・体幹を鍛えましょう！体幹を鍛えれば、スポーツがうまくなります！普段スポーツをしていない人でも簡単にできます。興味のある人はベースアップ教室に参加してください！

Step1 まずはここから

①仰向けに寝転がり、手と足でボールを安定させる
②手と逆の足（左手と右足など）をボールから離して床ギリギリまでゆっくりおろす
※床に手足がつかないようにすること
③伸ばした手足を元の位置に戻す。反対も同じように②〜③を繰り返す

Step2 まだまだできるぞ！という人は

①仰向けで寝転がり、両手を上げてボールを持つ
②手に持ったボールを足の方へ持って行き、両足ではさむ
③両手・両足を床までゆっくりおろす（手足を床にはつけない）
④ボールを挟んだ足を左・右１回ずつひねる
※体の軸をぶらさないよう意識
⑤元の体勢に戻し、ボールを手の位置に持ってくる
※①〜⑤を繰り返す

※体に無理のない範囲で運動を行ってください

ベースアップ教室…第１・３木曜日午後７時から
B&G体育館（７〜９月はプール）で開催しています。

問　B&G海洋センター　℡0966-43-4555
写真協力：公立多良木病院　村山直さん　地域おこし協力隊　安井佳奈さん

Health

保健師だより

〜日焼け？しみ？しわ？だけではありません〜

秋も用心！紫外線

保健師　野々原 亜紀

紫外線は夏に強い印象がありますが、その期間は意外に長く、春から初秋に強くなり、４月から９月にかけて１年間の約70〜80％の紫外線があります。紫外線の浴びすぎは、日焼けやしわ、シミだけでなく、皮膚や目にも影響を与えてます。

皮膚への影響

・皮膚の炎症（赤くヒリヒリ）、みずぶくれ
・炎症をきっかけとした単純ヘルペスの再発
・光線過敏症　・シミやしわ
・脂漏性角化症　・皮膚がん

目への影響

・紫外線角膜炎　・翼状片　・白内障

普段できる紫外線対策

①紫外線の強い時間（特に10時〜14時）を避ける
②日かげに入る
③日傘を使い、帽子をかぶる
④そでやえりのついた服でおおう
⑤サングラスをつける
⑥日焼け止めを上手に使う

紫外線は、カルシウム代謝に大切なビタミンＤを皮膚で合成するお手伝いをします。ビタミンＤは食事から摂ることが基本ですが、それだけでは不足気味。しかし、日焼けするほどの日光はいりませんので、正しい知識で上手に紫外線と付き合っていくことが大切です。
（環境省のホームページも見てください）http://www.env.go.jp

【引用・参考】環境省　紫外線環境保健マニュアル2015

戸籍の窓

ご結婚おめでとう

和田　大地　（福岡県）
澁谷　明乃　（下里）

山澤　隼人　（人吉市）
久保田　麗　（野中田１）

越智　達也　（中里１）
杉山　恵理　（福岡県）

ご冥福をお祈りします

吉村　伸一郎（上里１）
桑原　庄八　（上里３）
稲葉　タミ子（田上）

香典返し

中西　智治　（上里３）
松原　九州男（上里３）
桑原　昌彦　（上里３）

H29.7.1 〜H29.7.31

ひとの動き
（H29.7.31）

男性	1884 人
女性	2159 人
計	4043 人
世帯数	1630 戸

今月の行事予定 Calendar 09

※各地区の健康相談は各地区の公民分館で開催
※行事は8月25日現在。場合によっては変更になることがあります

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SUT
27	28	29	30	31	1 広報・旬報配布	2
3 秋季町民球技大会 8：30〜 町民グラウンドなど	4 健康相談 9：00〜 保健センター 情報発信能力講座 18：30〜 役場洋会議室	5 いきいきかようクラブ 13：30〜 保健センター	6	7 検診 （6カ月児12:50〜 3カ月児13:00〜） 多良木保健センター B&Gベースアップ教室 19:00〜 B&Gプール	8 だんだん水中運動 19：00〜 B&Gプール	9
10 敬老会 10：00〜 改善センター	11 健康相談 9：00〜 男性料理教室 10：00〜 保健センター 野中田２健康相談 13：30〜	12 いきいきかようクラブ 13：30〜 保健センター	13	14 金婚・ ダイヤモンド婚表彰 11：30〜 保健センター B&Gベースアップ教室 19:00〜 B&Gプール	15 旬報配布 浅鹿野健康相談 13：30〜 だんだん水中運動 19：00〜 B&Gプール	16 県民体育祭 人吉球磨一帯
17 県民体育祭 人吉球磨一帯	18 敬老の日	19 いきいきかようクラブ 13：30〜 保健センター 辻健康相談 13：30〜	20 古城健康相談 13：30〜	21 １歳児育児相談 9：30〜 保健センター B&Gベースアップ教室 19:00〜 B&Gプール	22 だんだん水中運動 19：00〜 B&Gプール	23 秋分の日 日本遺産 ウオーキング 9：00〜 湯前駅発
24 湯前保育園 運動会 9：00〜	25 健康相談 9：00〜 男性料理教室 10：00〜 保健センター	26 いきいきかようクラブ 13：30〜 保健センター	27 幼児歯科検診 9：00〜 保健センター 上染田健康相談 13：30〜 ビーチボールバレー大会 19：30〜 B&G体育館	28 ビーチボール バレー大会 19：30〜 B&G体育館	29 広報・旬報配布 だんだん水中運動 19：00〜 B&Gプール	30

Dientary habits

食の栄養

食事で抜け毛予防

管理栄養士　田中 朋子

夏の疲れや紫外線による頭皮の日焼け。季節の変わり目で崩しやすい体調。一般的に夏の終わりから秋に髪が抜けやすいといわれています。食事で必要な栄養素をとり、内側から髪や頭皮をケアしましょう。

〈抜け毛の原因〉

◎過度の飲酒や喫煙…栄養の吸収を妨げ、血行が悪化
◎頭皮の不衛生………皮脂や汚れで毛穴を詰まらせ、育毛を阻害
◎疲労やストレス……内臓の働きが不調になり、皮脂が過剰に分泌

〈髪に必要な栄養素〉

髪の主成分
たんぱく質（ケラチン）
【多く含む食材】
肉類、魚介類、卵
牛乳、乳製品
大豆製品など

不足するとケラチンの合成が
うまくいかず脱毛しやすくなる

育毛に欠かせない
亜鉛
【多く含む食材】
貝類、肉類、納豆
高野豆腐
海藻類など

髪の生成を助ける
ビタミンB群
【多く含む食材】
レバー、さんま、まぐろ
牛乳、乳製品、納豆
バナナなど

髪や頭皮を健康に保ち
たんぱく質の合成にかかわる

Charm Discovery

1 段差を使ってトレーニングする子どもたち、暑さに負けず頑張ってます！ 2 体操すれば眠気も吹き飛ぶ？きちんと手を伸ばして体操をする子どもたち 3 大人も一緒に子どもたちと「いち、に、さん、しっ！」

地域おこし協力隊's eye（アイ）
隊員「目線」でリポート

大忙しの夏休み
子どもたちに負けてはいられません！

雨が降ったり、暑かったり、台風が来たり…。天気はとても忙しそうでしたが、今月は夏休みならではの光景を一つお届けします。子どもたちにとって夏休みは、学校に行く日よりも忙しいのかもしれません。

今月のリポーター
射場（いば） 絵美（えみ）

夏休みの朝の始まり

夏休み中、町内のあちらこちらでラジオ体操が行われていると聞き、馬場区と上村区を訪れてみました。自転車に乗ってさっそく出発。早朝の町は静かで、8月とは思えないような涼しい風が吹いていました。

到着してしばらく待つと、ぞくぞくと子どもたちが集まってきました。子どもたちは起きたばかりなのかまだ眠そう…。午前6時30分になるとラジオから聞き慣れた音楽が聞こえてきました。ラジオの独特な音が「ラジオ体操らしさ」をより一層引き立てます。眠った体を目覚めさせるかのように音楽に合わせて思い切り手を広げ、軽やかにジャンプ。近くに住んでいる大人たちも一緒に体操していました。体操を終えると子どもたちはすぐにスタンプを持った人の前に整列。頑張った証をぶらさげ家に帰っていきました。

何ごとにも力いっぱい！

さらに自転車で町内を走っていると、湯前少年柔道クラブが朝練をしていました。夏休みの間はラジオ体操のあとに集まって朝練をしているそうです。暑さに負けず、まっすぐ前を見て力一杯走る子どもたち。遊び・運動・勉強。お昼もB&G海洋センターのプールや駅前など町内で遊ぶ子どもたちを見て「暑さでへばっている場合ではない！夏を楽しまないと！」と思い直すことができました。2学期も子どもたちの元気いっぱいの姿を楽しみにしています！

ブドウの季節到来！
（ゆる～く近況報告）

待ちに待った町特産ブドウの季節。今までは小粒のデラウェアや巨峰しか知らず、スーパーでは高級品のブドウですが、湯前の直売所や物産販売所は一味違います！種類の多さ・おいしさ・値段。すべてに感動。皮ごと「パクリ」の種なし、定番のジューシーな大粒ブドウ。色もさまざま。ことしはどんなブドウを食べてみようか、お気に入りのブドウがいつごろ出るのか、夏定番のお楽しみとなりました。（射場）

緑系はハニーシードレス。丸い中粒でぷるんと皮を剥いて食べます。すっきりとした甘さ！

「ゆのまえかじり」はこちらから！

Community

Town Youth
わっかもんもがまだします！
青年団だより

2017 Vol.3
団長 坂口 真紀子

7月～
本番まであとわずか！文化祭練習

球青協文化祭に向けて7月から始まった練習も、いよいよ最後。9月2・3日、あさぎり町の須恵文化ホールで開催されます。ことしは、舞踊・合唱・演劇に出場します。湯前の「わっかもん」をぜひ見に来てください！

8月19日（土）
ぶどう祭りバザー出店

団員一同心を込めて焼きそばを焼きました！ことしもたくさんの人にお買い求めいただきありがとうございました！

今後の予定
9月2日（土）・3日（日）
第53回球磨郡青年団協議会文化祭

1 文化祭まであとわずか！きれいなハーモニーを目指して音合わせ 2 舞踊の先生たちの指導もあって毎年舞踊は上位入賞。ことしも優勝を目指します 3 ぶどう祭りで販売した焼きそばも完売。お買い求めいただきありがとうございました！

青年団の活動はフェイスブックをチェック！

Communication

Pick Up Person
地域を元気に！
商工会青年部、新部長に佐々木弘人（ひろと）さん

2年間部長として活動する佐々木さん

商工会青年部（14人）の役員改選がこのほど行われ、古川産業に勤める佐々木弘人さん（39＝上里3）が部長に選ばれました。

青年部は町商工会に加入している事業所の後継者や従業員でつくられ、年齢は現在30～40代。町内イベントでの出店の出店や、ボランティアなどの活動をしています。部長の任期は2年。新部長となった佐々木さんは「地域の元気になれるように活動していきたい」と話していました。

editorial note
編集後記

▼今回は熊本地震をリポート。発災後に備えを見直した人も多かったと思いますが、続けることはなかなか難しいように思います。まずは無理しない程度に少しずつ。自分にできることからやってみませんか？
▼ことしから保育園児から中学生までがプログラミングを体験。平成32年度から小学校で必修科目に。一見「プログラミング」と聞くと、難しいイメージがありますが、子どもたちは普段からタブレットになれていて、抵抗なく受け入れていたようです。この体験から新たな夢を見つける子どももいるかもしれませんね。
▼人づてに聞いた話。とあるお宅で広報ゆのまえが玄関にずらりと飾ってあるとのこと。担当者にとって、誌面をとっておいてもらえることはとてもうれしいことです。少しでも多くの人が「残しておきたい」と思えるような誌面を作っていきたいと改めて思わされました。㊪

野中田2区のいきいきクラブ。住民が体を動かしながら笑顔で情報を交換。顔を合わせることで、災害のときだけでなく、日ごろの悩みも解決しやすいのではないでしょうか

この人に注目！

平根聖也さん

南稜高校馬術部

仲間とつかんだ全国３位。
これからも動物と関わっていきたい—。

第51回全日本高等学校馬術競技大会（日本中央競馬会）が７月24日から26日まで静岡県御殿場市で開かれ、南稜高校の平根聖也（せいや）さん（生産科学科３年＝上里３）が所属する馬術部が３位入賞を果たした。

本大会はあらかじめ用意された３頭の馬で障害物を飛び越えて競う。レギュラーは６人。３人が乗馬し、残りの３人が他校の偵察やスコアの伝達・記録を担当。短い間でいかに馬の特徴をつかむことができるかが勝負のカギだ。

平根さんはサポート役として出場。単に馬の動きだけでなく、馬にどんな道具がついているかなどを細かく観察して選手へ伝達。メンバーの役割がかみ合った南稜は36チームが出場する中、昨年の４位を超える好成績を収めた。

中学までは剣道と水泳。平根さんは人吉球磨では南稜にしかない競技に魅力を感じて入部を決意した。「他校の選手と競い合うことや馬とのかかわりが楽しい。自分が世話をした馬に乗って、結果が出たときはうれしかった」。しかし、２年生のときに悲劇が起こる。練習中、椎間板ヘルニアを発症。歩くことさえつらく、競技復活は難しかった。平根さんは悔しさをこらえながら選手を支える道を選んだ。「やめたいと思ったこともあったが、最後に結果が出て、続けてきて本当によかった」。

３年間で特に汗を流したのは馬の体調管理だ。当時世話をしていた馬が一時練習できない状態になったときは自分で薬を買ってきた。調子が悪いときには、腫れ上がった足をよく冷やし、一日一日馬の気分を考えて接した。子馬が生まれた瞬間にも立ち会い、いつしか動物とかかわることが好きになっていた。

「動物看護師になる」。３年間の部活を通して新しい夢が芽生えた。「大学で勉強したい。南稜の環境を活かして、残りの学校生活で、動物ともっと接して知識を深めていきたい」。平根さんは次なる夢に向かって歩き出している——。

発行／湯前町役場総務課 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成29年９月１日 印刷／㈲町田印刷